様式２
（2019年度）

事業実績報告書

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-58	講座名	ソーネおおぞねで学ぶ『身近なエコライフ』
記載日	2019・12・29	団体名・企業名	特定非営利活動法人わっぱの会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

衣ー衣類はリサイクルをする前にもう一度リメイクをすると作る楽しみ、使う楽しみもあります。今回は、着なくなった和服を利用して、小物入れを作りました。手縫いなので、気軽に簡単にできることがわかりました。食ー家庭からでる生ごみで堆肥が上手くできると、野菜を育てて収穫でき、食べる楽しみもあります。ダンボールコンポストを利用すると可燃ごみが減る事が、目に見えてわかりました。住ーお片付けの手ほどきを学び、物を探す手間が省けると、日々の暮らしも楽しくなります。掃除の仕方も教えていただき、洗剤の使い分けもわかり、大掃除の時期には良かったです。１回ごとに衣・食・住と講座を組み立てて、単発でも受講しやすくしました。

※写真1の説明

10/11・ソーネおおぞね・ダンボールコンポストの使い方の説明を聞いています。

※写真2の説明

11/8・ソーネおおぞね・和服を裁断して小物入れを手縫いで作っています。

〈 企画・運営者の声（感想）〉(350字程度)

ソーネおおぞねに置いてある、「なごや環境大学」の冊子が減っていくので受講者も見込めるかと思いましたが、人の集まりが少なくて残念でした。ダンボールコンポストは、毎日の生活で生ごみを堆肥に変えれることは、ごみ減量につながり、関心のある方は遠くから来てくれました。リメイクの小物づくりは、時間内に完成できるか心配でしたが、受講者が少ないこともあり、作品として持ち帰ることができ、良かったです。お片付けの手ほどきでは、受講者からの実践的な話も聞け、思い出の品は物で残すのではなく、写真にしたり、残す期限を決めたりと、講師の方と、受講者の方とのやり取りもあり、参加型になったのも、良かったです。単発でも受けやすいからなのか、受講者は単発の方ばかり、３回続けての受講者はいませんでした。

〈 受講者の声(実感した反応及びｱﾝｹｰﾄより）〉(3～5点、計350字程度)

1回目ー説明がやさしくて、よく理解できた

２回目ー気軽に作れる方法を教えていただけたので、大変良かったです。分かりやすく教えていただけて、いろいろ楽しくお話しながらできたので、とても楽しかったです。

3回目ー片付けについて自分でやるもの、人に頼むこと、片付け事業の仕事のことなど知れて良かった。